

Ellis's Story 【No.2】

「How to have time New Year's」



だんだんと寒くなってきましたね。私は、アメリカのカリフォルニア州出身なので、この寒さをあまり経験していません。そのため、まだ、日本の寒さに体が慣れていません。今の季節のカリフォルニア州の気温は、15度から20度の間なので、雪が降ることは絶対ないです。カリフォルニア州のサンフランシスコは、年間を通して気温が15度から25度の間なので、四季をあまり感じる事ができません。しかし、日本では、春には桜が咲き、夏には汗をかき、秋には紅葉が見られ、そして、冬には雪が降る。この四季折々の素晴らしさを肌で感じる事ができ、新しい発見や経験をしています。

12月といえば、やはり「クリスマス」ですね。日本では、一般的に「恋人と過ごす日」と聞いています。しかし、アメリカは、家族と一緒に過ごす祝日なのです。何をして過ごすのかというと、家族とクリスマスツリーを飾り付けたり、テーブルに並んださまざまな料理を食べたり、そして、プレゼントを渡したりします。しかし、アメリカには、多種多様な民族の人が住んでいるので、クリスマスの過ごし方は、その家庭によって異なります。例えば、私の家族はベトナム人なので、クリスマスの日には家族でお墓参りをします。しかし、他の家庭には、そういう習慣はありません。

一方で、日本でのお正月は家族と過ごす日ですね。アメリカでは、友達とパーティーに行き、シャンパンを飲んで、楽しく過ごします。アメリカには、初詣や書初めといった風習がないので、その日本ならではの伝統が面白いと思います。

これまで、先生や子どもたちのおかげで、学校で英語を教えることがとても面白く、毎日が楽しいです。これからも、日本でたくさんの素晴らしい文化を経験できると思うと、とてもワクワクしています。もし、お店などで私の姿を見かけたら、「HELLO」と声をかけてくださいね。

Ada's Story 【No.2】

「Amerikan New Year's」



アメリカでの12月は、休日がたくさんあります。その中でも、「クリスマス」は、アメリカの人たちにとって、家族と過ごす大切な休日の1つです。家庭によってクリスマスの過ごし方はさまざまですが、多くの家庭が、家とクリスマスツリーを飾り付けます。その日は、全員がプレゼントを受け取りますが、特に、子どもにはたくさんのプレゼントが手渡されます。プレゼントを受け取った人が、贈り物を開封するときには、皆がクリスマスツリーの周りに座り、その様子を見守ります。また、街では、クリスマスキャロルを歌いながら街を練り歩く「キャロリング」が行われています。たとえ、サンタクロースが子どもたちのためのものであっても、子どもからお年寄りまでの誰もがクリスマスを心から楽しんでます。

そして、もう一つ大切な休日があります。それは、ユダヤ人の人々によって祝福される「ハヌカ」です。ハヌカは8日間開催され、毎日1本ずつろうそくを灯します。また、子どもたちは「ドレイデル」と呼ばれる特別なゲームをする習慣もあります。そして、日本人がお正月におせち料理を食べるように、「ラクス」や「スファニヤ」といった、フライドポテトやドーナツをよく食べます。油で揚げる食べ物は、ハヌカに欠かすことができません。なぜなら、油はハヌカの起源に重要な役割を果たしているからです。

アメリカの大晦日は、皆が華麗な服を着てパーティーに行き、盛大に祝います。私は、パーティーに行くと、シャンパンやスパークリングアップルサイダーを飲みます。そして、新年を迎えると、町には人々の歓声が響き渡り、ほとんどの都市で花火が打ち上げられます。

クリスマスは「赤」と「緑」、ハヌカは「青」と「白」、大晦日は「金」と「銀」と「黒」で、街中が彩られます。アメリカの年末年始は、とてもカラフルで、街中がお祭り騒ぎのようです。

◆ Ellis & Ada's English phrase of the month ◆

ここでは、日常生活でよく使われ、覚えておくと便利な英語のフレーズを紹介します。

「What's up!」 「やっほー!」や「元気?」を意味し、カジュアルな挨拶代わりに用いられるフレーズです。

